

成果指標				
成果指標	設定しない			
指標設定の考え方	送迎サービスの利用は、各施設で実施される介護予防事業の実施数に左右される。介護予防事業の利用促進を目的とする送迎サービスであり、その利用率と介護予防事業の成果は一致しないため、設定しないものとする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	2	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	2	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成27年度における唐川ふれあいプラザでの送迎サービス利用者はなく、施設周辺居住者の利用に限られている様子が伺える。指定管理者である社会福祉協議会に対し、送迎サービスを活用した施設利用者の拡大につながるよう助言したい。ただ、有料施設ではなく、指定管理者による自主事業収入も期待できないため、利用者拡大のインセンティブが得にくく、積極的な活用拡大策になりにくい面がある。公共施設全般に言えることだが、指定管理者による収益活動の取り組みについても併せて助言し、間接的に、送迎サービス事業の妥当性、有効性の向上につなげたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	2	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	高齢者福祉施設の利用促進を目指した事業である介護予防のためには有効な事業であると考え。しかしながら、利用者が減少しており、何故、利用者が減少しているのか分析し、利用者が増加する方策を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題